



# ユネスコ世界文化遺産講演会 北海道の世界文化遺産に学ぶ —縄文遺跡群とSDGs—

## ◆講演1 世界文化遺産を通してSDGsを学ぶ

奈良教育大学ESD・SDGsセンター長・教授 中澤静男

## ◆講演2 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の普遍的な価値

東京大学大学院人文社会系研究科准教授 根岸 洋

## ◆ディスカッション 北海道に生まれた世界文化遺産をどう育てるか

コーディネーター 北海道ユネスコ連絡協議会会長 大津和子

# 縄文遺跡群と

◆主催 北海道世界文化遺産活用推進実行委員会

◆協力 旭川ユネスコ協会

◆後援 旭川市教育委員会

2022年10月16日（日）

9：00 開場 9：30 開会 12：30 閉会◆

アートホテル旭川2階「ザ・ウェストルーム」◆

参加無料 定員120名（要事前申し込み）◆

詳しくは裏面をご覧ください。

# SDGs

# ユネスコ世界文化遺産講演会 北海道の世界文化遺産に学ぶ

2021年7月、「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコの世界遺産に登録されました。世界の人類のために将来にわたって受け継がれるべきその価値とはどのようなものなのでしょうか。世界遺産の価値を生かした教育と遺跡群の保存活用に取り組む専門家を迎え、世界文化遺産が北海道にはじめて生まれたことの意味を学びます。



## 講演1「世界文化遺産を通してSDGsを学ぶ」 中澤静男 なかざわ しずお

**奈良教育大学ESD・SDGsセンター長・教授** 大阪市生まれ。奈良教育大学大学院修了。奈良県公立小学校教員、奈良市教育委員会指導主事を経て2011年から現職。主な研究分野は歴史文化遺産を通じたESD。日本ESD学会評議員を務める。主な著作は『学校教育におけるSDGs・ESDの理論と実践』協同出版、『ESDの授業づくり』京阪奈情報教育出版、『SDGs学び旅ガイドブック』奈良新しい学び旅推進協議会（いずれも2021年刊行）など。

**講師からひとこと：**世界文化遺産は1972年にユネスコで採択された世界遺産条約に基づき、「国境を越えた人類共通の宝物」として損傷、破壊等の脅威から保護し、保存することとされた遺産です。またSDGsの達成のために能動的に参加・協力する人を育てる教育を持続可能な開発のための教育（ESD）と呼び、その推進機関もユネスコです。世界文化遺産をESDの教材として活用することで、「心の中に平和のとりでを築く」（ユネスコ憲章前文）と共に、持続可能な社会の創り手の育成も可能になると考えています。

## 講演2「北海道・北東北の縄文遺跡群」の普遍的な価値」 根岸 洋 ねぎし よう

**東京大学大学院人文社会系研究科准教授** 秋田県由利本荘市生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得満期退学、博士（文学）。青森県教育庁文化財保護課、国際教養大学を経て2021年から現職。主な研究分野は縄文時代から弥生時代への移行期論、新石器化・社会複雑化の比較考古学。三内丸山遺跡発掘調査委員会委員を務める。主な著作は『東北地方北部における縄文／弥生移行期論』雄山閣・2020年、『縄文と世界遺産—人類史における普遍的価値を問う—』筑摩書房・2022年など。

**講師からひとこと：**2021年7月、世界遺産一覧表に記載された「北海道・北東北の縄文遺跡群」は北海道南部と青森・秋田・岩手県の17箇所の遺跡から構成されます。縄文文化は日本列島の全域に広がっていますが、その内のごく一部であっても世界遺産としての価値が認められたのです。本講演では世界遺産の考え方や縄文遺跡群の特徴を紹介するとともに、それらが体現する縄文時代像や、現代の我々に語りかけるものとは何かを探ります。



## ディスカッション「北海道に生まれた世界文化遺産をどう育てるか」 大津和子 おおつ かずこ

**北海道ユネスコ連絡協議会会長** 神戸市生まれ。神戸大学文学部修士課程修了。北海道教育大学教授、同大学理事・副学長、日本国際理解教育学会会長等を経て2012年から現職。日本ユネスコ協会連盟副会長を務める。専門は国際理解教育の教材・カリキュラム研究、サブサハラアフリカ諸国をフィールドとする国際教育開発研究。主な著作は『社会科—一本のバナナから』、『国際理解教育 地球市民を育てる授業と構想』、『グローバルな総合学習の教材開発』（以上単著）、『アフリカの開発と教育』、『現代国際理解教育事典』、『日韓中でつくる国際理解教育』（以上共著）など。

**講師からひとこと：**2005年に「知床」がユネスコ世界自然遺産となったことで、自然保護の大切さが広く知られ、多くの観光客が訪れるようになりました。昨年世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」はまだ十分に知られていません。道内各地には縄文遺跡が点在していますが、それは世界文化遺産としての遺跡群とどのように異なるのでしょうか。ユネスコ世界文化遺産縄文遺跡群から、私たちはどのようなことを学べるのでしょうか。

日時：2022年10月16日（日）9時30分開会・12時30分閉会

会場：アートホテル旭川（旭川市7条通6丁目）

主催：北海道世界文化遺産活用推進実行委員会

実行委員会サイトへはこちらから→



講演会への参加は事前申込みが必要です。右のQRコードからお申込みください。

◆ 参加資格：満12歳以上で道内にお住まいの方。 ◆ 定員先着120名、参加は無料です。

◆ その他ご不明の点はお気軽に実行委員会事務局までお問合せください。

電話：011-231-4111 内線35-606 担当：西脇（にしわき） Email: [vgjomonhokkaido@gmail.com](mailto:vgjomonhokkaido@gmail.com)

